

## 飯山市美術館運営協議会 会議録

- 開催日 平成30年6月7日(木) 午後3時30分～4時45分  
○開催場所 飯山市公民館101会議室  
○参集者 委員：吉越隆師(会長) 千坂経悦(会長職務代理) 上海一徳 高山顕光  
堀川とし子 ※3名欠席  
市側：長瀬哲(教育長) 栗原良満(美術館長) 井端伸介(美術館係長) 木村友子

### 1 開 会

2 辞令交付 高山顕光 任期30年4月1日から

### 2 あいさつ

会 長： 新年度、第一回の会議になる訳ですが、新規事業の提案もあるので充分にご審議をいただきたいと思います。

教育長： 昨年は正受老人と白隠の展示で大勢の方々に来ていただいて大変良い企画だったと思います。また、新年度いろいろな企画を計画中であります。委員の皆様のご意見をちょうだいしながら、飯山市美術館の本来の活動、地域の子供たちのためにも活用できるような施設になればなと思っております。今年一年、ご理解とご支援等、宜しくお願いします。

### 3 協議事項 ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

#### (1) 平成29年度事業について(報告)

委 員： 作品の寄贈については何か基準はあるんですか。

館 長： 倉庫の関係もありますが、市役所では受け入れるには審査会がございまして、市として保管することに相応しいと判断されれば、物品に関しては受理しています。

事務局： どんな作品でも受け入れるという訳にはいかないので、市の寄付採納委員会に掛ける以前に美術館内で専門性が高いかどうか協議したうえで、寄付採納委員会に掛けるようにしております。

判断に迷うような作品については信濃美術館にご意見を伺うような形をとっています。

ただ、ここ何年かはご意見を伺わなくてはいけないような場面にはなっていない。

#### (2) 平成30年度事業計画(案)について

委 員： 小学生、中学生が観てよい展覧会はどんなものがあるのでしょうか。

事務局： ギャラリー展の学校所蔵作品展もいいですが、米林雄一さんの抽象彫刻もいいです。

抽象彫刻は一見、難しいような、何を表現しているか。大人の方があれこれ考えてしまおうが、小さい子供から大人までぜひ見て頂きたい作品です。

会 長： 子供たちが参加できる何かができるといいね。

子供が来れば、親も一緒にきてくれるから。

市内小中学校作品展はなかなか見られない作品だから、この企画は面白いなど。できれば続けて開催でくるといいと思う。2回、3回とできるといいと思う。

事務局： 今回35点といいましたが、そのうち12点は飯山高校からお借りします。やはり、歴史のある学校で、飯山市ゆかりで相当活躍された方のものや歴史のある物を所蔵していて、他の学校と比較にならない位充実しています。

会 長：このチラシは全戸配布？

事務局：いえ、予算の関係上難しいです。防災無線、i ネット等で知らせます。

教育長：隣組回覧で回せばいい。

事務局：はい。せっかくやるので、精いっぱいの宣伝をします。

### (3) 平成 31 年度以降の企画展（案）について

事務局：これからの調査になりますが、前回の協議会で提案されました若手作家、長野市の美術専門学校に通っている学生さんとか、今すぐ決まっているわけではない、32 年 33 年と目指していけるような提案、アドバイスがあれば先々に活かしていけるかと思います。

会 長：そうですね、高校で美術を勉強している子供達とかね。そういうのは大事だと思います。入館者数に関してはあまり変化が無いように感じますね。大きな変化は。ただ、月別を見してみるとやっぱり企画展が入ってくると違ってくるのかな。

事務局：それは関係あると思います。

### (4) その他

会 長：愛宕町で行われる特産まつりは美術館 2 階の伝統産業会館と何かセットでできないでしょうか。

委 員：なかなかそれは難しいと思います。

委 員：学校所蔵作品の他に、個人で持っている作品を紹介できる企画もいいかなと思います。

教育長：出してくれるか。

会 長：それをどうやって掘り起こすか。

委 員：眠っている作品たくさんあると思う。

会 長：前にやった事あるよね。個人の作品を借りてきて。

事務局：はい。佐藤武造展を行った時は個人、施設など 24 か所から借りました。

委員の仰ったように個人の方から借りて「私の逸点」というような。個人のお宅にある作品はなかなか観ることはできませんから。

委 員：以前、ふるさと館で個人から借りてやりましたね。雲窓でしたか。

事務局：はい。「佐久間雲窓展」ですね。

教育長：その企画そろそろやればいいのかも知れないね。若い人は知らないから。

会 長：なんでも掘り起こしてみるといいかも知れないね。

委員の一人は全然出席していませんが、事務局とは何か接触はしているのか。

和紙との関わりを考えたときに何かないのか。

事務局：以前企画展の時に協力して頂いた時もありましたが、和紙に関する企画展を実施する時には、協力して頂きたいと思っています。

会 長：手すき和紙体験工房が近くにあるが、美術館と連携して何かやろうという事は考えてないのか。

事務局：今のところそういった考えはありませんが、企画によっては連携できる事を考えてみます。

## 4 閉 会